

金沢美術工芸大学 令和7年度学校推薦型選抜 試験問題

学科・専攻	第2次選考試験問題
インダストリアル デザイン専攻	実技試験 薄い金属板を加工してできる、 美しい造形のスコップをデザインしなさい。
工芸科	実技試験 与えられた「にんにく」をモチーフとして、 粘土を用いて自由に立体表現しなさい。

- ※ 条件等は、次ページ以降の試験問題をご覧ください。
- ※ 第1次選考は書類審査です。
- ※ 芸術学専攻の第2次選考は「面接」のため、試験問題はありません。

令和7年度学校推薦型選抜第2次選考 実技試験

金沢美術工芸大学美術工芸学部 デザイン科 インダストリアルデザイン専攻

■問題

**薄い金属板を加工してできる、
美しい造形のスコップをデザインしなさい。**

■デザインの条件

- 1、板を切り出して、曲げたり折ったり穴を開けたりするのは良いが、溶接、接着は不可。
- 2、以下の3点を満たすこと。
 - ①使わない時も美しい抽象造形であること。
 - ②持ちやすく扱いやすい形状であること。（異素材を組み合わせないこと）
 - ③箱の中の土を、こぼさず、効率よく、残さずに移せること。
- 3、造形・色彩は自由に考えること。
- 4、異なるアイデアのデザイン検討モデルを、B3白ケント紙を用いて5個以上原寸で制作すること。
- 5、形状を維持させるためにテープを利用してもよい。

■提出物

1、デザイン最終モデル（1点）

- ・最終モデルをB3黒ケント紙の台紙に貼って提出すること。

2、最終提案の着彩スケッチ（B3白ケント紙 1枚）

- ・提案するデザイン1点を、わかりやすく描くこと。
- ・デザインポイントや使用方法、寸法などをイラストや文章で簡潔に表現すること。

3、デザイン検討モデル（5点以上）

- ・デザイン検討モデル全てをB3白ケント紙の台紙に貼り、台紙にはそれぞれ何を検討したかを記載すること。

4、草案用紙（A3コピー用紙 2枚）

- ・異なるアイデア、形、機能などを考える際にメモとして使用してもよい。

* 1～3、を別紙のレイアウト図を参照し、スチレンボードの所定位置に貼ること。

* 4、は別途回収する。

■注意

- 1、提示したサンプルは参考とし、そのデザインにはとらわれないこと。
- 2、与えられたサンプル、材料、道具類、及びこの問題用紙は試験終了後に回収する。

令和 7 年度 金沢美術工芸大学入学試験

学校推薦型選抜

工芸科 第 2 次選考 実技試験（立体表現）

令和 6 年 11 月 23 日（土曜日）8 時 30 分～12 時 30 分

問題

与えられた「にんにく」をモチーフとして、粘土を用いて自由に立体表現しなさい。

条件

1. モチーフは加工しても良い。ただし刃物は使用しないこと。
2. モチーフの個数、大きさなどの設定は自由とする。
3. 使用する粘土の量は与えられた範囲内で自由とする。
4. 解答作品は粘土板小（塑像板）の上に置くこと。また板からはみ出さないこと。
5. 解答作品は高さ 30 cm 以内とする。

注意

1. 募集要項に指定された持参用具と、配布された道具以外は使用しないこと。
2. 配布された塑像用具は加工しないこと。
3. 粘土の中に異物を入れないこと。
4. モチーフ及び全ての配布物は持ち帰らないこと。

モチーフ にんにく：2 個

配布物

水粘土 8 kg、粘土板大（練り用）、粘土板小（塑像板）、塑像用具一式、霧吹き、雑巾 2 枚、水入れ、草案用紙 5 枚